

糖尿病の治療の目的は？

糖尿病患者は10年前に比べると、10倍ぐらい増加しています。特に40才以上では、10人に1人という割合です。

「尿に糖が出ている」とか「糖尿病又は糖尿病の疑い」と云われた人は、早く治療を受けましょう。

血糖の上昇した状態で放置していると、いろいろな合併症をひき起こします。自覚症状の全くない時期でも、血糖の上がっていることによって、動脈硬化が進み、血管が障害され硬くなったり、狭くなったりして身体の老化が早まってきます。そして、全身に及び、寿命を10年も縮めるのです。

合併症には高血圧症、高脂血症（コレステロールや中性脂肪が高くなる）、蛋白尿などの自覚症状のないものから、白内障、網膜症、頑固な神経痛、しびれや膀胱炎など自覚するものなど多数あります。

若い人でも、狭心症、心筋梗塞、脳出血や脳梗塞を起こしたり、腎臓病が悪化して腎不全になったり、目の障害から失明したりします。足のちょっとした傷でも治りが悪く、化膿して壊死をおこして切断しなければならないこともあります。

医師の管理のもとで、食事療法、運動療法と共に必要なら早目に薬物療法を行なって、血糖のコントロールをする事が、糖尿病とその合併症を悪くしないようにする事の最も大切なことです。

糖尿病のおそろしさを、今一度自覚して下さい。

平成7年9月
西山 雅雄